2022 年 11 月 30 日

森と海の自然科

# 2022 年度　高知県から徳島県の宿泊研修旅行　報告

５年ぶりの宿泊研修。お天気が素晴らしく良く、バスは渋滞もなくスイスイ進みました。目指すは来年の朝ドラ「らんまん」のモデル牧野富太郎の業績を記念する高知県立牧野植物園。夜は土佐料理や屋台村で高知の夜を楽しみました。２日目は、大歩危峡遊覧に祖谷のかずら橋を渡るという森海の研修旅行に相応しい四国の森・里川・海を訪ねる活動でした。

日　時　　2022 年 11 月 24 日（木）～25 日（金）
集　合　　ＪＲ神戸駅　8 時 30 分　集合

行　程　　１日目：ＪＲ神戸駅～淡路ＳＡ（休憩）～豊浜ＳＡ（休憩、昼食）～高知県立牧野植物園～高知城発～ホテル着チェックイン・ワクチン証明と本人確認～18：00 夕食（土佐料理　司）

２日目：ホテル発～高知・桂浜発 9：50～高知自動車道～大豊ＩＣ～国道３２号線～大歩危観光船場　乗船時間 30 分～祖谷かずら橋夢舞台駐車場着(昼食. 吊り橋体験）～徳島道～神坂ＳＡ（休憩）～神戸淡路道～ 淡路ＳＡ（休憩）～第二神明～阪神高速５号～ＪＲ神戸駅着（解散）

参加者　　20 名

**牧野植物園**　入口から土佐固有の植物群が出迎えてくれました。ガイドの松本さんに丁寧に案内して戴き、沢山の植物を観察しました。メインホールは木材がふんだんに使われていて、柔らかな曲線で植物園と調和して気持ちいい空間でした。「寒蘭展」が催されていて、美しい凛とした蘭の立ち姿に魅了されました。牧野博士ゆかりの植物なんですね。「牧野博士と図鑑展」では、牧野富太郎の牧野日本植物図鑑の原図を見ることが出来ました。牧野博士が今でも植物を描いているような空間でした。自由時間には各自広い園を回り、温室や五台山からの展望も楽しみました。

**高知城**　本丸の建築群がすべて現存する日本唯一の城。皆で急な木の階段を上り天守閣まで行きました。高知市内が一望出来、ちょうど夕暮れ時になり殿様の気分で漆の欄干にもたれて夕日を見ました。

**土佐料理　司**　皿鉢料理を期待したけど、中身は同じで懐石風に料理が出てきました。コロナのこともあり仕方ないかな。先付けのドロメは初めての味。カツオのたたきが美味しいかった。

**ひろめ市場**　夜の土佐はまだまだ終わりません。１泊旅行の良い所ですね。大石さんの案内で大きな市場の中にある屋台村に行きました。司でお腹一杯の私達数人は、郷土料理やお惣菜を売る市場を一回り見て、雰囲気を楽しみました。少し買い物をして帰る途中、外国の人に沢山出会い挨拶しました。旅行者か働いている人かは分かりませんが。

**桂浜**　桂浜と言えば龍馬像。思っていたより大きい！（龍馬のサイズ 5.3m）現在の像は平成１１年に有志からの寄付により修復・強化されたとのこと。記念撮影後桂浜におりました。浜の石は波に洗われてツルツルしていて、何故か皆が石を拾いだす。ストーンペインティングにピッタリじゃないなどと

言いながら。色も綺麗で五色石と呼ばれているらしい。朝日に海がキラキラ輝き美しい。

**大歩危遊覧**　四国山脈を横切る四国三郎・吉野川がＶ字谷を削り出し、紅葉も併せて見事な景観を見せている。四国山脈と同方向に約２億年前につくられた三波川結晶片岩の地質が走っており、この結晶片岩が日本列島の背骨を形成していると言われている。それが、露出して見ることができる。特に丸い礫が海底の圧力でぺしゃんこになったものを含んでいる含礫片岩は、非常に貴重だということです。折り返しの近くから色鮮やかな鯉が追走してくるので見ていると、船頭さんがパッと餌を投げていく。餌付けされているんですね。

**かずら橋**　キウィに似たシラクチカズラで作られた吊り橋。３年に一度架け替えるのに約６トンのカズラが必要になるため、年々調達が難しくなっているようです。橋床の木の間から十数ｍ下の河原が透けて見え、皆恐々渡っていきました。近くの茶店で郷土料理のでこまわしを食べている人もいましたよ。以前来た時は平家の落人が逃れてきた秘境のようでしたが、夢舞台という施設があり賑わっていました。

宿泊研修は半分以上の人が初めての参加でした。充実した２日間、楽しかった。手配から案内まで杉谷さんには大変お世話になりました。

牧野植物園門前

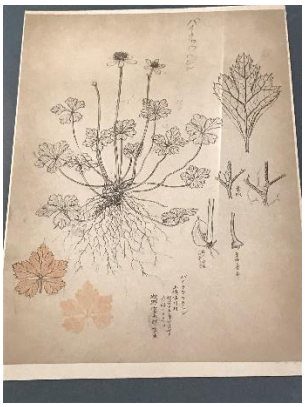
寄生するキイレツチトリモチ

ソナレノギク

顔をみせたネズミ

説明を聞く

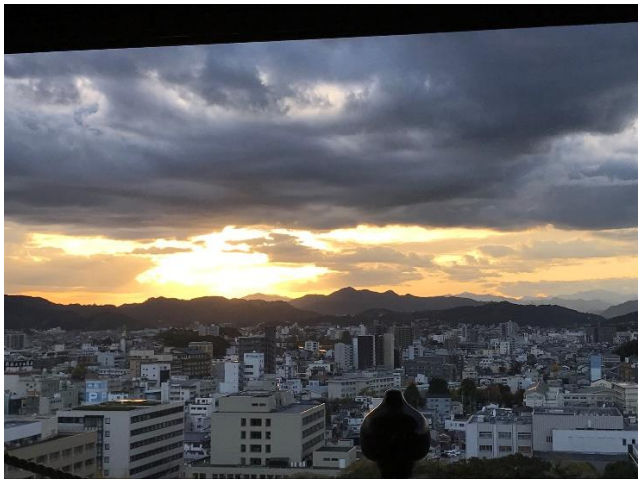
よう條書屋（牧野博士が今でもいるよう）



バイカオウレンの原画

シオギク

高知城



高知城天守閣から高知市内を望む

龍馬像の前

桂浜の海に朝の光が輝く

大歩危遊覧

斜めに亀裂が入った**結晶片岩**

彩雲が見えた

シュウカイドウ

かずら橋

橋を渡る。腰が引けてる人も

写真：浅野・金戸・福嶋昭　　記録：山本